

(一財)東京都スキー連盟事業における  
「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」について  
【Ver 3.0版】

2021(令和3)年11月22日

【はじめに】

2021年11月より、標記のガイドライン、及び健康確認表をリニューアルいたします。

2021年現在、当該ウイルスによる感染状況は収束傾向ですが、引き続き感染防止対策については徹底することとし、2021-22シーズンにおいても、本ガイドラインによる感染防止対策を継続いたします。

今シーズンにおいては、ワクチン接種が一定の部分進んでいると想定できますので、2回目のワクチン接種が完了して、2週間以上経過していない場合は、抗原検査またはPCR検査を実施して頂き、陰性であることを確認した上で大会や行事にご参加されることを推奨させて頂くことにします。

## 「SAT新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」設定の目的

- 本ガイドラインを「SAT新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(以下「ガイドライン」と略す)と呼称します。
  - 本ガイドラインは都連の主催・主管行事に関わる、参加者、帯同者、スタッフ、観戦者、サポーター等のすべての関係者に適用します。
  - 本ガイドライン設定の目的は、皆さんが参加したいと考えている行事の実現の為、そして皆さん自身の自己防衛の為、一丸となって感染リスクを排除しようという考えに基づいています。
  - 都連のスキーに関わるすべての人が新型コロナウイルスの特性を正しく理解し、一致協力の上感染防止に努めることを目的に設定されています。
- 何卒、主旨をご理解いただき、ご協力を頂きますことお願い申し上げます。
- \*新型コロナウイルスに関連する情報は、現在も日々更新されている状況です。本ガイドラインもヴァージョン(Ver)管理を行い、都度更新してまいりますのでご理解の程、お願いいたします。

## 【参加者の皆さまに行事参加前、事前に留意していただくこと】

- 1 行事の2週間前から当日までに5ページの事項に該当する場合は、会場への入場ができません。
- 2 指定されたVerの「健康確認表」を事前に記入し、提出の要請があった場合はその指示に従うこと。
- 3 マスクを持参すること。(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
- 4 厚生労働省より提供されている接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードを推奨する。また会場内でのBluetoothはオンにしておくこと。
- 5 こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 6 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(出来るだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること。  
(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- 7 行事中に大きな声で会話や応援等をしないこと。
- 8 感染防止のために主催者が決めた措置等を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- 9 行事終了後(2週間以内)に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### <その他の注意事項>

- ・行事の前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避け、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分な配慮を行うこと。(参加者による懇親会等は極力避けるようにお願いします)
- ・休憩時の手洗い。手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒を行うこと。
- ・十分な距離の確保。競技の種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(\*)を空けること。(※介助者や誘導者の必要な場合を除く)
- ・強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気か激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。  
※感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である
- ・唾や痰をはくことは行わないこと。
- ・リフト・ゴンドラ等乗車方法は、地元索道会社、スキー場、主催者のルールに従うこと。
- ・講習中のコミュニケーションや滑走中以外も含めて会話をする際には、極力口元を覆う物を装着すること。

【行事前14日間(当日を含む)に以下の症状等ある場合は会場への入場ができません】

体調の確認(健康確認表による)

< 行事前14日間(当日を含む)における以下の事項の有無 >

- ア) 平熱を超える発熱(37.5℃以上、または平熱より1℃以上高い状態のいずれか)
- イ) 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状
- ウ) だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)
- エ) 嗅覚や味覚の異常
- オ) 体が重く感じる、疲れやすい等
- カ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- キ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ク) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## 【観客・来場者の感染防止対策】

<東京都スキー連盟主催・主管の行事に来場される観客・来場者の方への注意事項>

- ・原則として、参加者と同様に本ガイドラインに記載された内容に従うこと。
- ・観戦・来場者の方についても5ページに該当する症状がある場合は、会場への入場はできません。
- ・同じグループや応援団などが密となることがないように、対人距離は2mを目安に(最低1m))を確保すること。
- ・選手や役員の動線には立ち入らないこと。
- ・常にマスク等を着用し、大きな声での声援や会話、対面での会話はしないこと。
- ・会場での飲食は行わないこと(食堂等の飲食施設を除く)。
- ・ゴミや使用済のマスクなどは、ビニール袋で封印し、現地で破棄せずに持ち帰ること。

## 【主催者側の感染防止対策】

<東京都スキー連盟役員・専門員等には事前に以下の注意事項について周知します>

- ・「健康確認表」による管理を徹底すること。
- ・普段から「密閉」「密集」「密接」を避け、こまめな手洗い・うがい、咳エチケットに気をつけ健康維持に努めること(行事開催中は特に徹底のこと)。
- ・講師やコーチ、スタッフは講習や会話をする際、口元を覆う物を着用し、対面になる際の飛沫感染対策に配慮すること。
- ・ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ・宿泊先では密にならない部屋割りをを行い、クラスターを避ける為、役員は出来るだけ分宿等を行い、部屋の行き来も必要最小限を心がけること。
- ・移動手段(行き帰り)にも感染防止に配慮すること(公共交通機関を出来るだけ避けるなどの配慮)。
- ・役員(参加者も含む)による必要以上の飲食は避けること。

## 【セレモニー・表彰・合否発表・TCM・説明会等での感染防止対策】

- ・いずれの場合も必ずマスク(飛沫感染対策に効果のあるもの)を着用すること。
- ・開会式・閉会式・表彰式・合格発表・タイム・順位掲示等の集合し密になる可能性のあることは、適宜状況に応じて実施を判断することにする。
- ・効果が期待できる場合は、Web等により方法も取り入れる。
- ・表彰式等を実施する場合、物品の授受等がある場合には手指の消毒等、感染防止対策に努めることとする。
- ・入賞該当者への賞状、賞品等の授受は状況に応じて判断するが、当日授受が出来ない場合は、後日郵送等に対応する。
- ・セレモニー等では原則として、飲食は行わないこととする。
- ・行事終了後は、速やかな帰宅を推奨する。



## 事務局における感染防止対策

東京都スキー連盟事務局では、会員の皆様に安心して御来局いただけるよう、安全第一を一層強化し、感染防止に取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましても、最小人数での御来局や、マスク着用、入局時の手指の消毒、咳エチケットの徹底など、一層の安全対策にご協力をお願いいたします。

### <具体的な対応の予定>

- ・事務局員の健康チェックや手洗いの徹底
  - ・事務局員のマスク着用
- ・パーテーション・ビニールシート等の設置
- ・ソーシャルディスタンス(1~2m四方)の確保
  - ・事務局の定期的な換気
  - ・事務局のアルコール消毒液の設置

## 【感染の疑いがある体調不良者が発生した場合の対策ガイドライン】(追記部分)

1) 体調不良者とは、「感染疑い症状」がある者を指し、その対象者は、健康確認表最新版 9)のア)～カ(下記)に該当する者という。

ア 平熱を超える発熱(37.5℃以上、または平熱より1℃以上高い状態のいずれか)

**\*解熱剤を服用していないこと**

イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる、疲れやすい等

**カ 下痢・嘔吐・嘔気**

\*体調不良者が発生した場合は、以下2)～4)の手順で行動すること。

\*同時に現地大会(行事)本部、または都連事務局へ遅滞なく届け出ること。

\*受診までの方法に不安がある場合は、【別紙1】を参考にする。

2) 体調不良者本人に医療機関受診までのプロセス

・出来るだけ地元の医療機関で受診し、受診以降の対応については受診した医師の判断に従う。

・地元での受診が困難な場合は、バブル輸送方式(他者と接触しない方法)において受診地まで移動する。

・受診の結果については、遅滞なく関係者(指示された者)へ報告し、行動についても指示に従うこと。

(医師の判断、保健所等の公的機関の判断を優先)

3) 1)の発覚に伴い、濃厚接触の可能性のある者がいる場合は、以下の対応を行うことを原則とする。

尚、濃厚接触者の定義は【別紙2】の通り

・受診結果が判明するまで、3)の濃厚接触の可能性のあるものは全員、隔離待機する。

または、保健所の別の指示がある場合はそれに従うこと。

・体調不良者本人の受診結果により、以降の行動については医師の判断に従う。

・受診結果が判明する前に帰宅する場合は、バブル輸送方式(他者と接触しない方法)において移動する。

- 4) 体調不良者(定義は1)の通り)が発生し、受診結果前に大会等への参加可否の判断が必要な場合【別紙3】の基準で判断することを原則とする。  
体調不良者に、5)に該当する診断書などが無く、周囲のものについても全く接触がない場合を除き、本人、周囲のもの(定義は【別紙3】参照)を含めて、大会、行事の参加が出来ない場合がある。
- 5) 体調が回復し、大会、行事等に復帰を希望する場合の対応  
医師の診断書など(検査の内容、検査結果、診断の結果、復帰の可否などを記載したもの)の証明できるものにより、復帰が可能と診断された場合は、連盟としては復帰を許可する。  
但し、学校等の所属団体の判断を優先させることとする。
- 6) 各判断については、当該行事の組織委員会、または現地の責任者において行う。

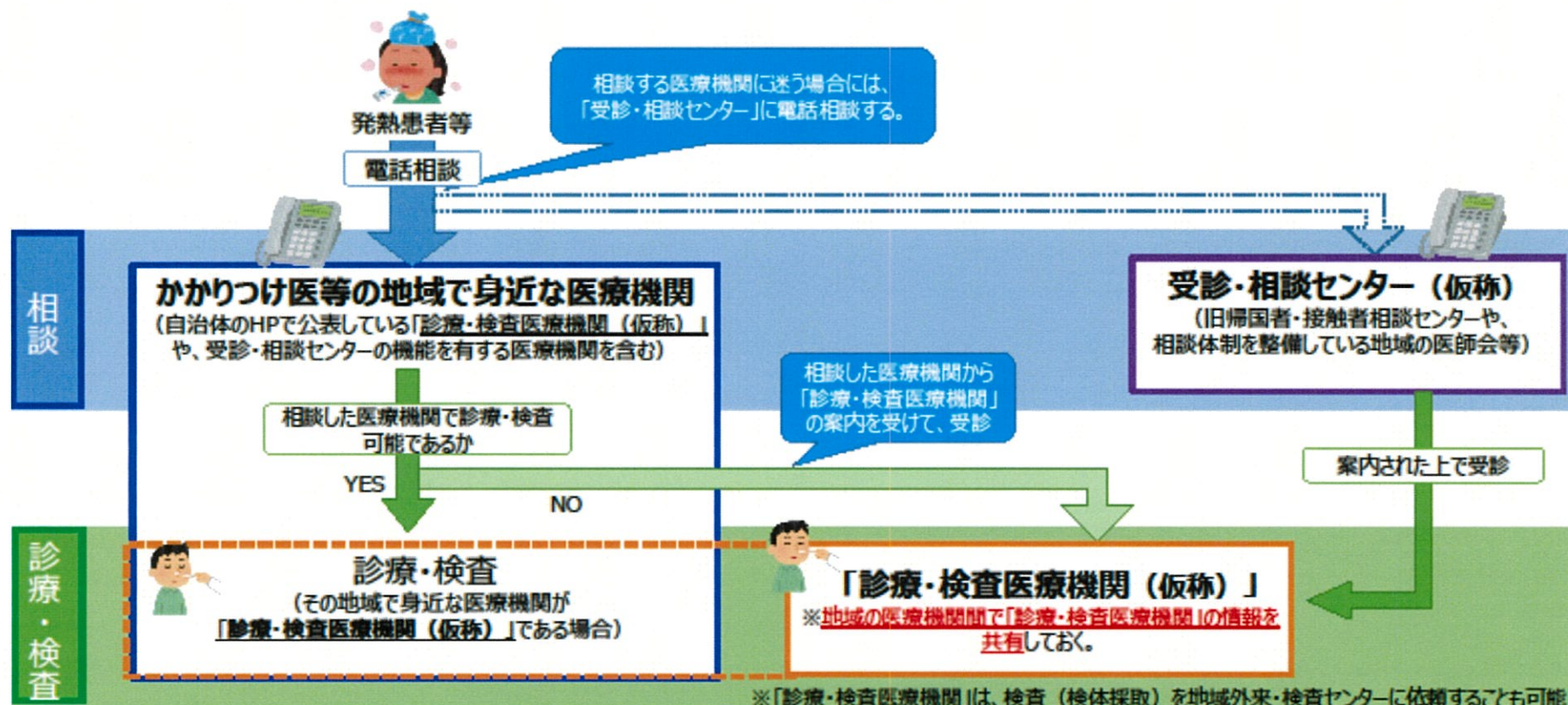
## 発熱等の症状のある方の相談・受診の流れ

<住民に対して周知すること>

- 発熱等の症状が生じた場合には、**まずはかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に、電話相談**すること。
- 相談する医療機関に迷う場合には、「**受診・相談センター**」に相談すること。

<都道府県等や地域の医療関係者で整備すること>

- 発熱患者等から相談を受けた際に、適切な医療機関を速やかに案内できるよう、「**診療・検査医療機関**」とその対応時間等を、地域の医療機関や「**受診・相談センター**」間で**随時、情報共有**しておくこと。
- その上で、地域の医師会等とも協議・合意の上、「**診療・検査医療機関**」を公表する場合は、自治体のホームページ等でその医療機関と**対応可能時間等を公表**する等、患者が円滑に医療機関に受診できるよう更なる方策を講ずること。



## 【別紙 2】

表 3-2 濃厚接触者の定義

「患者（確定例）」の感染可能期間（発症 2 日前～）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- ・適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
- ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他：手で触れることのできる距離（目安として 1m）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

\*積極的疫学調査実施要領について（2021 年 1 月 8 日改訂）

## 【別紙 3】

### 体調不良者が発生した場合の大会等の出場判断

	14日前～ 8日前	7日前～ 1日前	大会参加初日	大会参加 2日目以降
選手団（競技）内で 感染者が発生した場合	× (※1)	× (※1)	×	×
選手団（競技）内で 濃厚接触者が発生した場合	× (※2)	× (※2)	×	×
選手団（競技）内で 体調不良者が発生した場合	▲ (※3)	△ (※3)	×	×

▲：体調不良者が、次のア又はイの要件が満たされた場合、参加することができる。

ア 感染疑い症状の発症後、8日間が経過し、かつ、薬剤を服用していない状態で感染疑い症状消失後72時間以上経過している場合

イ 薬剤を服用していない状態で感染疑い症状が消失し、新型コロナウイルスの感染リスクが低いことを示す医師の診断書がある場合

△：体調不良者が薬剤を服用していない状態で感染疑い症状が消失し、新型コロナウイルスの感染リスクが低いことを示す医師の診断書がある場合は参加することができる。

×：参加不可。

参加不可とする場合、原則として周囲の者全員を不可とする。

ただし、以下の場合は「周囲の者」に含めないこととする。

※1 感染者が発症した日（無症状の場合は検体採取日）の2日前以降に、当該感染者と完全に別行動で、全く接触がなかった場合

※2 濃厚接触者が感染者と接触があった日以降に、当該濃厚接触者と完全に別行動で、全く接触がなかった場合

※3 体調不良者が症状を発症した日の2日前以降に、当該体調不良者と完全に別行動で、全く接触がなかった場合

ここで言う「体調不良者」とは感染疑い症状がある者を指し、「周囲のもの・選手団」とは、当該の大会、行事等に参加するための行動を共にしているチーム、クラブ等の団体（選手、監督、コーチ、サポートスタッフなど）を指す。